

地元企業の協力で 市庁舎に飛沫防止シートを設置

令和2年4月14日（火）、河内長野市（市長：島田智明）では、松本工務店（代表：松本拓久様）のご協力により、市庁舎1階の窓口カウンターに、新型コロナウイルス感染防止のための「飛沫防止シート」を設置しました。なお、市庁舎の2～8階についても、順次設置いただく予定となっています。

【設置までの経過】

新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、本市内で生まれ育ち地域団体などでも活躍している松本拓久代表が、コンビニエンスストアで飛沫防止シートを見かけ、市民の安全のために市庁舎にも設置したらどうかと思い立ち、本市に申し出がありました。市でも一部材料を購入し、設置準備を進めていたことから、その材料と合わせて同社の資材もご提供いただき、無償で設置していただけることとなりました。

【市庁舎の感染防止対策】

政府の緊急事態宣言発令を受け、本市では、各種手続きで来庁される市民の皆様安心して市庁舎をご利用いただくとともに、職員の安全を確保するため、市庁舎の新型コロナウイルス感染防止として次の取り組みを行っています。

- 空調の換気運転や出入口・窓を定期的に開放するなど換気を徹底
- 来庁者用アルコール消毒液の設置
- 来庁者同士が間隔をあけて座れるよう椅子の配置を変更
- 職員の手洗い・うがい・マスク着用の励行
- 消毒・除菌清掃の実施



問い合わせ： 河内長野市 自治安全部危機管理課
総務部資産活用課

☎0721-53-1111

※広報広聴課より写真提供が可能です。

